

飼料用米ソフトグレインサイレージ多給による 南部かしわの発育と産肉性への影響

【成果概要】

- (1) 南部かしわに、地域飼料である飼料用米ソフトグレインサイレージ（以下「SGS」）を 30%~50%及び加熱くず大豆 10%を混合した飼料（表1）を 28 日齢以降に飽食給与すると、概ね 16 週齢で出荷目標体重(2.8kg)へ到達し、配合飼料を給与したものとほぼ同等の増体重を確保できます（表2）。
- (2) 筋胃が大きく発達しており、特産肉用鶏として販売する時に、差別化を図る特徴のひとつとなります。SGS 混合割合が増えるほど飼料摂取量は増加しますが、飼料単価は安くなるため、正肉 1 kg 当たり飼料費は、SGS50%区で約 4 割の削減が見込まれます（表3）。
- (3) 地域飼料由来の代謝エネルギー自給率は、SGS50%区で 62%となります（図1）。

表1 供試飼料の配合割合と成分

区分	供試原料(%) (原物)			粗蛋白 CP (%)	代謝エネルギー ME (cal/kg)
	配合 ^{※1} 飼料	飼料用米 ^{※2} SGS	くず ^{※3} 大豆		
対照区	100	-	-	18.5	3,200
SGS30%区	60	30	10	16.0	2,799
SGS40%区	44	40	16	16.2	2,676
SGS50%区	30	50	20	15.9	2,545

※1 ブロイラー後期飼料

※2 飼料用米 SGS は水分含量 34.3%

※3 150℃で10分間加熱後、破碎したもの

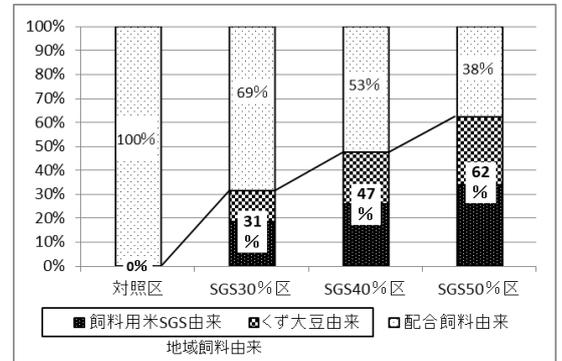


図1 供試飼料における地域飼料由来の代謝エネルギー自給率

表2 発育成績 (g/羽)

区分	性別	羽数	4 週齢	8 週齢	12 週齢	16 週齢	1 羽あたりの 日増体量
対照区	雌	9	573±27	1,427±64	2,143±169	2,886±236	27.5
SGS30%区	雌	7	593±28	1,397±79	2,124±33	2,823±134	26.6
SGS40%区	雌	10	586±25	1,353±126	2,138±189	2,876±223	27.3
SGS50%区	雌	10	585±28	1,330±85	2,075±113	2,847±176	26.9

※ 平均値±標準偏差

表3 1羽当たりの産肉性及び経済性 (g、%、円)

区分	胸肉	腿肉	ささみ	正肉量	正肉歩留	筋胃	飼料総 摂取量	飼料 ^{※1} 単価	飼料 費	正肉 1kg 当たり 必要飼料費 ^{※1}
対照区	406±43	548±53	107±11	1,061±101	37.5	34±8 ^a	7,800	87	679	628 (100) ^{※2}
SGS30%区	411±34	541±41	107±14	1,059±80	38.1	47±8 ^b	7,803	64	499	463 (74) ^{※2}
SGS40%区	413±42	553±44	113±13	1,079±87	38.2	55±9 ^{bc}	8,738	55	481	438 (70) ^{※2}
SGS50%区	407±33	560±47	109±7	1,076±74	38.1	57±4 ^c	9,127	47	429	396 (63) ^{※2}

※ 平均値±標準偏差 ※ 異符号間に 5%水準で有意差あり

※1 1kg 当たり、配合飼料 87 円、飼料用米 SGS25 円、くず大豆 41 円とし算出

※2 対照区を 100%とした時の割合